

## La 3-a Informilo



La 102-a Japana Esperanto-Kongreso  
en Sendai

La 10-a, 11-a, 12-a de oktobro 2015

第 102 回

日本エスペラント大会  
(仙 台 市)

日 時： 2015 年10月10日(土),11日(日),12日(月・祝日 体育の日)

会 場： 仙台市民会館 (仙台市青葉区桜ヶ岡公園4-1 電話 022-262-4721)

主 催： (一財)日本エスペラント協会, 仙台エスペラント会

後 援： 日本ユネスコ国内委員会, 宮城県, 仙台市, 宮城県教育委員会, 仙台市教育委員会,  
(独法)国際交流基金, (公社)日本ユネスコ協会連盟, (一社)日本ペンクラブ,  
(公財)宮城県国際化協会, (公社)仙台ユネスコ協会, NHK 仙台放送局, 河北新報社,  
朝日新聞仙台総局, 毎日新聞仙台支局, 読売新聞東北総局

ホームページ： <https://sites.google.com/site/jekparafoja/>

大会テーマ： **Espero trans la katastrofo 災厄の向こうの希望**

日本エスペラント大会が初めて仙台で開かれたのは1924年の第12回大会でした。招致が決まったのは前年の岡山での大会でしたが、それは1923年9月1日、まさに関東大震災の当日のことでした。そして、2011年3月11日に東日本大震災を経験した私たちは第102回日本エスペラント大会を開催しようとしています。

東日本大震災と福島原発事故によってこの地域は大きな打撃を受けました。復旧と復興の歩みののろいところも多く、時間の流れが止まったかのようなところも少なくありません。

災厄は破壊的な力で人間に襲いかかってきて、人間はそれに翻弄されます。しかし、屈服してばかりではなく、精一杯それに対処しようとし、それを乗り越えようとするものです。そのようなときに、希望の言葉エスペラントはどのような力を私たちに与えてくれるでしょうか。

この大会に集うエスペランティストが、国際語エスペラントならではの国際交流を深めるとともに、いろいろな経験を語り合う中でエスペラントが持つ未来に向けた希望の力を感じてほしい、そのような願いを込めて仙台で大会を開催します。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第102回日本エスペラント大会実行委員長 後藤 斉

### [連絡先]

・ 日本エスペラント大会事務局

162-0042 東京都新宿区早稲田12-3 一般財団法人日本エスペラント協会内

メール： [jek15s@jei.or.jp](mailto:jek15s@jei.or.jp) お問い合わせは主にメールで

TEL: 03-3203-4581 FAX: 03-3203-4582 ホームページ: <http://www.jei.or.jp/>

・ 参加申込みは、[郵便振替 00130-4-744162 日本エスペラント大会A] へ。

「振替」到着後、2週間をめどに領収書(はがき)をお送りします。

## [主なプログラム (予定) ]

10月10日(土) 受付/12:00～、分科会等/13:30～、親睦の夕べ/17:50～

10月11日(日) 開会式/9:15～、分科会等/10:35～、懇親会/18:30～

10月12日(月祝) 分科会等/9:00～、閉会式/12:10～、大会後観光/13:30発

## [大会テーマ公開講演] 「大震災とエスペラント」 10日15:10～17:10

東日本大震災被災者の支援活動に携わっているエスペ란ティストの講演。

堀泰雄さん(前橋市、元世界エスペラント協会理事) 東日本大震災直後からリアルタイムで状況をエスペラントを使って世界に発信し、本数冊の分量に。岩手県釜石市唐丹(とうに)地区の小中学生教育支援活動も世界に広げている。

高田彩さん(塩竈市、仙台エスペラント会会員) 主宰するギャラリーが津波の浸水被害を受けるも、アートによる被災者支援活動を展開。やはり地震被害を受けたクライストチャーチ(ニュージーランド)でのアートによる交流にも参加。

ほか、レザ・パーレビさん(インドネシア)からの報告も依頼中。

## [大会テーマ関連リレー小講演]

三瓶圭子さん(仙台)、矢崎陽子さん(福島)、江川治邦さん(和歌山)、土居智江子さん(横浜)、S. アニケーエフさん(富山)、堀泰雄さん(前橋)、桂福点さん(大阪)、レザ・パーレビさん(インドネシア)など。ほか、震災関連の歌を歌う番組も。

## [公開講演・コンサート]

・東京大学藤井省三教授「魯迅とエロシエンコ」(仮題) 12日10:00～ 魯迅研究の第一人者による、エスペラントも絡んだ二人のつながりについての講演。

・「エスペラントとユネスコ」11日10:35～ モンテビデオのユネスコ総会でエスペラント支持が決議されてから60年。鈴木恵一朗JEI理事長の基調講演と、双方に関係した活動をしている江川治邦さん(和歌山)の講演。仙台ユネスコ協会にも講演「仙台ユネスコ協会とエスペラント」(仮題)を依頼中。

・山形大学藤野祐一教授コンサート 11日15:00～ 声楽家(バリトン)によるエスペラント歌曲。

## [大会記念品]

後藤斉『人物でたどるエスペラント文化史』(仮題)などを準備中。

## [大会会場]

仙台市民会館 〒980-0823 宮城県仙台市青葉区桜ヶ岡公園4 - 1

**Tel.: 022-262-4721**

仙台市営バス：①仙台駅前29番乗り場(仙台駅西口から250m西)から、「定禅寺通 経由交通局・大学病院前」行き乗車、「仙台市民会館前」(約15分、100円)下車すぐ。②仙台駅前25番乗り場(仙台駅西口から150m西)から、「子平町方面」行き乗車、「春日町」(約10分、100円)下車、西に徒歩約5分。

仙台市営地下鉄南北線：勾当台公園駅「公園2」出口から、徒歩約10分。

タクシー：JR仙台駅から約10分。

高速道路：東北自動車道「仙台宮城IC」から約10分。

仙台空港からJR仙台駅まで：仙台空港アクセス鉄道で25分(快速17分)。

## ◆大会参加費など

(単位は円)

参加費	期限→	3月末	7月末	8月～	備考(○印 記念品・報告書あり)
① 一般		5,000	6,000	7,000	○
② 障害者		3,000	3,000		○
③ 家族		2,000	3,000	4,000	記念品希望者は①でお申込みください
④ 青年・留学生		2,000	3,000		○ (青年は2015年内に30歳になる人まで。生年月日を記入!)(留学生は、日本に留学中の外国籍の人)
⑤ 青年・留学生			2,000		
⑥ 中学・高校生		1,000	1,500		単独参加者の場合は○あり
⑦ 小学生以下		無料			
⑧ 外国から		2,000			○ 高校生以下は⑥, ⑦でお申込みください
⑨ 不在参加		3,000			○ 実参加へ切替の際は申込日の額との差額を追加で。
⑩ 記念写真		1,000			最終日にお渡します。各自お持ち帰りください。
⑪ 昼食Ⅰ11日(日)		950			
⑫ 昼食Ⅱ12日(月)		950			
⑬ 懇親会11日(日)		6,500			ホテルグランテラス仙台国分町。定員100名
⑭ 大会後観光		17,000			石巻でサンファン館・津波被災地等を巡る。定員50名
⑮ JEI学力検定試験		1級 5,000 / 2級 3,000 / 3級 2,000 / 4級 1,000			

◆取消し条件 ①～⑨の参加費は原則としてお返しできません。

⑩～⑮の費用は、9月末までに限り、返金手数料500円を控除し返金します。

## 〔宿泊〕

ホテルの斡旋はいたしません。近隣のホテル一覧はR0誌5月号記事やウェブをご参照ください。仙台市内には多数の宿泊施設がありますが、大規模な行事が重なることも予想され、早めの予約をお勧めします。

## 〔市内観光〕

仙台市内中心部の主要観光スポットを巡るバス「ループル仙台」(仙台市交通局)のご利用をお勧めします。専用の一乗車券(大人620円)で、どこからでも乗り降り自由、乗り放題です。一乗車券の提示で割引になる施設もあります。停留所は会場近くにもあります。「仙台まるごとパス」(JR東日本、2,670円)ならば、「ループル仙台」ほか仙台市営バス・地下鉄全線や指定エリア(松島・山寺・白石など)内のJR普通列車、空港アクセス鉄道等が2日間乗り放題。

## 〔大会後観光〕 (一泊二日、石巻方面)

閉会式終了後、バスで石巻に向い、復元された慶長遣欧使節船が展示されているサンファン館を見学します。宿泊は石巻中心部の石巻グランドホテル、原則として相部屋。翌日は語り部ガイドの案内で石巻市内の津波被災地を巡ります。過去を知り記憶するだけでなく、将来に備えるためにも、またとない経験になるはずです。海鮮料理の昼食の後、帰途につき、午後3時に仙台駅帰着・解散の予定。

# La 102-a Japana Esperanto-Kongreso en Sendai

**Dato:** la 10-a, 11-a, 12-a de oktobro 2015

**Kongresejo:** La civitana domo de la urbo Sendai

15 minutojn aŭtobuse de la stacidomo Sendai

**Kongresa Temo:** *"Espero trans la katastrofo"*

Per la okazigo de la kongreso, la organizantoj deziras esprimi dankojn al samideanoj, kiuj afablis etendi simpatiemajn manojn okaze de la katastrofo en 2011, kaj samtempe esperas, ke la kongresanoj ĝuos unike internacian etoson kaj sentos la forton de espero cele al la estonteco, kiun donas Esperanto, la lingvo de espero.

Ĉefaj programeroj (provizoraj)

## La 10-an de oktobro (sabate)

Akceptejoj: ekde 12:00

Posttagmeze: Fakkunsidoj (13:30- ), Tem-rilataj publikaj prelegoj (15:10- )

Vespere: Amika vespero (prezentantoj atendataj) (17:50- )

## La 11-a de oktobro (dimanĉe)

Antaŭtagmeze: Inaŭguro (9:15- ),

Publikaj prelegoj (Montevideo 60) kaj fakkunsidoj (10:35- )

Posttagmeze: Fakkunsidoj, koncerto k.s.

Vespere: Komuna bankedo (18:30- )

## La 12-an de oktobro (lunde)

Antaŭtagmeze: Fakkunsidoj (9:00- ), Publika prelego: Eroŝenko k Lusin (10:00- )

Posttagmeze: Solena fermo (12:10- )

Post la kongreso: Ekskurso al Muzeo Sant Juan Bautista kaj cuname damaĝita urbo.

**Memoraĵo:** planataj / Japana Esperanto-movado personara (japanlingve)

**Kotizoj:** Partopreno el ekster Japanio 2 000 enoj

Loĝanto plenaĝa en Japanio: 6 000 enoj (ĝis la 31-a de julio 2015),

7 000 enoj (de la 1-a de aŭgusto)

Pri ceteraj kotizoj (handikapulo, junulo, lernanto, alilanda studanto, morala partopreno, ktp) demandu al Japana Esperanto-Instituto (vidu malsupre).

**Loĝado:** Japanlingva listo de hoteloj sur retejo. informpeto akceptata.

**Postkongreso** (la 12-an kaj 13-an de oktobro, lunde kaj marde) : 17 000 enoj

**Foto:** 1 000 enoj. **Komuna bankedo:** 6 500 enoj

**Lunĉo:** la 11-an kaj 12-an de oktobro, 950 enoj potage

-----  
Pri detaloj havu kontakton kun Japana Esperanto-Instituto

/ JP-162-0042 Tôkyô-to Sinzyuku-ku Waseda-mati 12-3

retadreso: jek15s@jei.or.jp, telefono: +81-3-3203-4581, fakso: +81-3-3203-4582

retejo: <https://sites.google.com/site/jekparafoja/>